



(296)

小学校高学年 （中学校向け） 年組

2026年1月20日付・下野新聞3面

投票率ワースト2位脱却へ

期間周知など 全市町に訴え

県選管

衆院選小選挙区の県内投票率は50・24%で、全国ワースト5位だった。県選管の

担当者は「超短期決戦で施設や職員の確保に苦勞する自治体もあるが、投票率向上には市町選管との連携が欠かせない」と話した。
(杵木 澤良太)

県選挙管理委員会が、次期衆院選で投票率向上を目指すしている。昨夏の参院選で本県の投票率が全国ワースト2位と奮わなかったため、19日までに県内全25市町の選管に文書を出して取り組み強化を訴えた。

文書は金田尊男県選管委員長名で送り、投票率向上には「投票期間」の周知のほか、期日前投票所を商業・集客施設に開設することや休日開設が重要になると強調した。

昨夏の参院選での期日前投票所の開設状況を踏まえ、足利、鹿沼、下野の3市には「同規模市と比較して有権者のニーズに十分に応えるものになっておらず、改善の余地が大きい」と指摘。宇都宮、小山の両市には「さらなる拡大が望まれる」と要請し、残る20市町には取り組みの継続を求めた。

前回24年10月に行われた

設問

どっとこちゃんは、この記事から分かったことをまとめ、さらに気になったことを次のように調べてみました。

【1】記事を読んで、栃木県の投票率が全国的に見て低いことが分かりました。そこで、これまでの投票率と全国順位を表にまとめてみることにしました。記事の中から必要な数字を見つけ出し、下の表の(あ)～(う)を埋めてみましょう。

選挙の種類	投票率	ワースト順位
衆議院選挙 小選挙区(2024年)	(あ)%	第(い)位
参議院選挙 選挙区(2025年)	53.56%	第(う)位
衆議院選挙 小選挙区(2026年)	53.00%	第4位

【2】投票率の向上が必要なことが分かりました。そこで、県選挙管理委員会が各市町の選管に伝えた内容をまとめました。どの市町に対してどのようなことを伝えたのか、記事の中から見つけましょう。あてはまる市町を下から選び、①～③の記号で答えましょう。

県選挙管理委員会から出された内容	出された市町
「投票期間」の周知、期日前投票所の商業・集客施設への開設、休日開設、取組の継続	(あ)
同規模市と比較して有権者のニーズに十分に 応えるものとなっておらず、改善の余地が大きい	(い)
さらなる拡大が望まれる	(う)

①宇都宮市と小山市②足利市、鹿沼市、下野市③残る20市町

【3】2026年2月8日に行われた衆議院選挙の結果を調べてみました。栃木県の投票率は53.00%でしたが、全国平均は56.26%でした。今回の結果を、記事にあった2024年の衆議院選挙や2025年の参議院選挙のデータと比べると、どのような変化があったでしょうか。次の書き出しに続けて、説明してみましょう。

今回の栃木県の投票率は、
()

【4】調べてみると、2025年の参議院選挙で栃木県の投票率を「全国平均」と同じにするためには、あと約8万人の人が投票に行く必要があったことが分かりました。もっと多くの人々が投票に行くためには、どのような工夫やアイデアが必要だと思いますか。あなたの考えを書いたり、友達や家族と話し合ったりしてみましょう。